

第1学年SAI

教員用 授業の流れ（グルーピング①）

1 授業実施場所

鴻志館

2 生徒の持ち物

筆記用具、グルーピングシート、本時のワークシート、スマートフォン、（名札）

3 授業展開例

	時間	学習内容・発問例	教員の指導・留意点
導入	5分	まずはクラス別に整列する。 本時の目的・日程・注意事項を確認する。 「1年半にわたって行う研究活動の班決めを行う、非常に大切なここからの3時間である。」「仲が良いから、知り合いだから」といっただけの理由でグループを作るのではなく、自身の興味・関心を基に出会う仲間を探してほしい。」	教室の施錠は副担任が行う。ただし4組は〇〇先生にお願いする。 司会・進行：伊東・竹之越 化学室前からホワイトボードを2枚運んでおく。説明中にホワイトボードへハッシュタグの張り紙を貼る。
展開	45分	会場のホワイトボードに貼られているハッシュタグの付近に集まる【第1希望】。全体でまとめて指示が出るので、その指示通りに動く。 ○まずは集まった#の付近で4列に整列。人数が少ない#は2列 ○2列ずつで向き合い、ペアをつくる ○3分与えるので、グルーピングシートを相手に渡して、お互いの興味関心や立ててみた問いについて会話を（40秒～1分ずつアピール、約1分質疑応答） ○終了→1列目、3列目が一人分ズレてペアを変える… 3分→1分→3分→・・・という順で5回行う。 ※生徒は、会話した生徒の組番名前をワークシートに控える。 ※特に、自分の興味関心と合いそうな生徒に印をつけておく。	教員は、各ホワイトボードに付いて出た指示に対して補助をする。 アピール時間一人40秒～1分。その後約1分質疑応答をし合って話せているかどうかを注視しておく。
まとめ	5分	同じことを【第2希望】で3回～4回行う。 #付近に集まる→整列→ペアワーク→交代… 情報入力及び今後の予定	欠席者をどうするか。 【第1希望、第2希望】でのペアワークを経て、次時に参加したい#を入力する。

4 担当者

担当					
ハッシュタググループ	① 環境・エネルギー	② 自然・生物・農業	③ 機械・建築	④ 健康・福祉・医療	⑤ 学び・教育

担当				
ハッシュタググループ	⑥ スポーツ・パフォーマンス	⑦ 心理学・人間行動	⑧ 社会・国際	⑨ 経済・ビジネス

担当		
ハッシュタググループ	⑩ A 芸術・文化・メディア	⑩ B 言語・歴史・政治

第1学年S A I

教員用 授業の流れ（グルーピング②）

1 授業実施場所

各別教室（1－1～1－8・C1A教室・大教室）

2 生徒の持ち物

筆記用具、グルーピングシート、メモシート

3 指導教員の持ち物

生徒名簿、割り振り教室一覧、タイマー（あると便利です）、配布用プリント「ハッシュタグボード」

4 授業展開例

	時間	学習内容・発問例	教員の指導・留意点
導入	3分	前時の終わりに自分が入力した#のグループが、どの教室に割り当てられているかを確認し、移動しておく。 本時の目的・日程・注意事項を確認する。 「1年半にわたって行う研究活動の班決めを行う、非常に大切な3時間のうち2時間目である。本時は、前時の続きを行う。もし現在の#に疑問やミスマッチを感じたら、前半20分が終了したところで部屋を移動してもよい。また、戻ってきてもよい。但し、移動ができるのは本時までである。本時が終わると、いよいよグループを作っていくので、自分の興味に沿った部屋を決定できるよう最大限努力すること。」	各担当教室に入場した生徒を前からつめて着席させる（順不同）。
展開①	5分	まず、各部屋の中でハッシュタグが近いもの同士集まる ○ハッシュタグボードを配布、記入させる（1分） ○担当教員の号令で、ボードを掲げながら自分と似た#を持っているメンバーのところへ寄っていく。 ○ある程度集まったら、ローテーションできるよう着席する。	これは、あくまで自分と近い興味を持っている人と話せるチャンスを増やすことが目的なので、ずっとこのメンバーで一緒にいるという訳ではない。この後ローテーションする際は、だんだんと離れる場合もある。
展開② (1)	12分 (14:28)～ (14:40)	前時の続きを行う。 ○2列ずつ（隣席同士）で向き合う。ペアをつくる ○3分与えるので、グルーピングシートを用いて、お互いの興味関心や立ててみた問いについて会話をする ○終了→ローテーションでペアを変える ○3分→1分→3分→・・・という順で3回行う。 ※引き続き、自分の興味関心と合いそうな生徒に印をつけておく。	人数が少ない#で、同じ生徒に当たってしまった場合も、前回聞けなかったことを聞く、より深い話ができるよう努めるなど、工夫させる。
展開② (2)	20分 (14:40)～ (15:06)	【14:40目安】 ここで、「もし現在の#にミスマッチを感じているのであれば、部屋を移動してもよい」という旨を伝える。 （該当生徒は、<u>1ローテーション分の時間のうちに移動する。</u>） ○他の生徒は、引き続きローテーションをし4回目。 【14:50目安】 ○移動してきた生徒を列に混ぜて（抜けたところを埋めて）、<u>残り5回を行う。</u>	部屋を移動したい生徒は、必ず担当教員へ報告させる。 また、新たに部屋へ入ってきた生徒は、報告させ控えておく。 抜けた生徒、加わる生徒がいれば、適宜座席・列を整理してください。

ま と め	4 分	【15:06 目安】 ○ペアワークのメモをしっかりと書かせる。 ○次時はいよいよグループを作っていく。前時と本時で話せたメンバーの中から、同じ興味を持ってグループを組めそうな人を考えておく。 ※本時のスタート時と違うグループで次時を迎えたい生徒は、変更した旨を Google フォームに入力させる（帰りの S T 時）	今一度、下記にある（１）班の人数についてを読み上げ、グループ編成のルールを伝えておく。
-------------	-----	---	--

5 その他

(1) 班の人数について

ア 4 人を基準とし、3～5 人の班が基本。

イ 6 人以上になった場合は、アを満たすように班を分割する。

（ただし、既に 5 人班ができていたところに、あぶれてしまっている 1 人を含めざるをえないなどの場合は、その限りではない。）

ウ 2 人以下になった場合は、できるだけ他の班と合同にするなどして解消に努めるが、どうしても組めない場合は、1 人当たりの負担が重くなる場合があることを承知すれば 2 人班や個人研究も認める。

(2) 欠席者の扱い（4 日、11 日両日欠席になってしまった場合）

別途協議

（基本的に、12 月 11 日（水）以降、希望ハッシュタグを聴取し、所属したい班を申し出させる。次時からグルーピングがスタートするが、）

第1学年S A I

教員用 授業の流れ（グルーピング③）

1 授業実施場所

各井別教室（1－1～1－8・C1A・大教室）

2 生徒の持ち物

筆記用具、グルーピングシート、ハッシュタグボード、メモ用紙

3 授業展開例

	時間	学習内容・発問例	教員の指導・留意点
導入	5分	自分の選択した#グループの教室に移動しておく。 本時の目的・注意事項を伝達する。 「本時はいよいよグルーピングを行っていく。」	
展開	40分	〇何人もペアワークを行ってきた中で、同じ興味をもって研究ができそうなメンバー同士でグループをつくる。くれぐれも、仲良しこよしで寄るようなことにならないように。 〇人数は3名～5名が原則。ただし、2名・6名の場合は担当教員に相談する。 グルーピング開始 〇グループに入りにくい生徒は、担当教諭がフォローに入る（#を見ながら、似た内容で集まっているグループに誘導するなど）。 〇グループが決まったところから、担当教員の元へ「グループ登録用紙」を取りに来させ、記入させる。（提出は本時終了後） 〇残りの時間は、今後の活動に向けて、各々が今まで行ってきたクエスチョンマッピングを見せ合ったり、会話したりするなどして興味関心を共有しておく。	・2名の場合は、一人あたりの負担が大きくなってしまふことが懸念点。6人の場合は、5人で決めたようにしていた所に1名が入ろうとした場合、その子のせいで3名ずつに分かれなければならないなどの事態を防ぐためなので、半々で分かれられるなら分かれる。 ・◎が付いている生徒同士でも、顔と名前が一致しない場合もあるので、じっくりお互い名前を確認し合いながら取り組ませる（スリッパの名前を見るなど工夫）。 ・フォローする場合は、本人が持っているグルーピングシートやハッシュタグボードを見て、似たような要素を持っているグループを探してあげるとよい。 ・男女混合になっても全く問題なし。 ・過去の資料を持っていれば、それを持ち寄って話題にしてもよい。グループでマッピングをするようであれば、メモシートの裏面を利用する。
まとめ	5分	次時は、1月29日（水）に行われる2年生の発表会に向け、事前調査や事前準備を行うが、同時にこのグループでの活動を始めるので、改めてどんな問いが考えられるか、イメージを深めておくように伝える。 また、本時に欠席者がおり、調整の結果欠席者がグループに合流すること考えられるので、その点を了承しておくよう伝える。 〇グループ登録用紙を提出してから退室する。	